

仕入先様との関わり

●持続的な事業活動を支える

調達基本方針

- 1) 開かれた公正・公平な取引の原則
- 2) 調達相手先と一体となった競争力強化の原則
- 3) 調達相手先との共存共栄の原則
- 4) 原価低減活動等における課題・目的の共有化と成果シェアの原則
- 5) 相互信頼に基づく双方向コミュニケーションの確保の原則

当社は、「調達基本方針」に基づき、適正取引の推進を図っています。調達方針説明会でeSQCD等の期待値を提示し、仕入先様へ年間活動テーマとして展開していただいています。

次代の大豊 <テーマ 調達>

「常にお客様のニーズを意識して」

適正コストでの安定調達実現に努めます。そのためには、グローバル調達を加速させ、調達機能の充実を図ります。お客様のニーズをサプライヤーの皆様と共有化し、最適な提案につなげていくため、強固な協業関係を継続してまいります。



調達部
部長
清水 威博

◆豊成会の取り組み

豊成会は、当社の協力会社(全23社)で構成される組織として、1989年に結成され、大豊グループ協会として相互研鑽を通じ、企業の発展を図っています。

技術開発・改善事例展示会

豊成会各社様の事例を発表するPRの場として展示会を、2012年から毎年開催しています。2014年度は16件の事例が展示されました。



QC活動発表会

豊成会各社様とQC活動発表会を3回/年開催しています。

QCサークルは人材育成の場

豊成会代表として、グローバルQC大会に出場することができました。

各サークル発表は、仕事の質向上を意欲的に取り組んだものが多く、大変勉強になりました。自職場の問題解決力向上に取り組めます。



(株)村上製作所
平野 みゆき

◆サプライチェーンマネジメント

東日本大震災において調達困難な原材料、部品の代替先検討等の実体験をもとに反省し、サプライチェーンの把握を取り組み、大規模災害を想定した具体的な「生産の構え」を検討開始しています。これは、当社の事業継続マネジメント(BCM)の一部と連動しています。

◆紛争鉱物に関する対応

大豊グループで製品、購入部品、原材料には紛争鉱物を使用しないと宣言すると共に、仕入先様に対し、製錬所情報の入手と、不使用の証明書提出を要請しています。

●グリーン調達活動

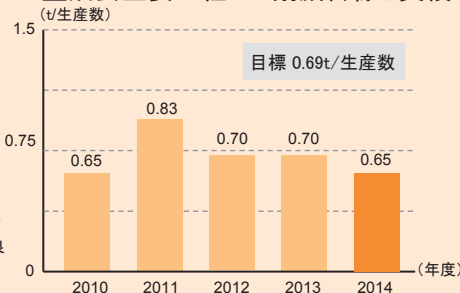
「CO₂削減」と「環境負荷物質管理」の活動を仕入先様と共有し、大豊グループとして取り組みを強化していきます。

活動の指標(KPI)

当社のグリーン調達では、

1. CO₂ 排出量削減の目標設定と実行
2. 環境負荷物質を含まない原材料等の調達に取り組んでいます。

1. 豊成会主要10社CO₂削減目標と実績



2. 非含有確認状況



◆グリーン調達ガイドラインの改訂

2008年4月に初版を発行して6年、環境マネジメントの充実と強化、最新の法規制への遵守を内容とした第3版を2014年12月に発行しました。

PDF版を当社ウェブサイトからダウンロードできます。

<http://www.taihonet.co.jp/company/green.html>



グリーン調達ガイドライン